

「心を届けるあいさつに」

2 2 1 2 1 2

あいさつとは、心を届けることだと私は考えています。コロナ禍以前に幸田中学校でも実施していた「職場体験学習」(中学校2年生が近隣の職場で3日程度、実際に働かせてもらい仕事の経験を通して学ぶ機会)での話です。

コンビニで職場体験をしていた人がいます。一番最初に「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」の三つを練習していました。お客さんの目を見て、頭を45度傾けます。これを何度も何度も練習していました。

なぜ、挨拶の練習を何度もするのでしょうか？それは、店の雰囲気やイメージが、店を選ぶポイントになっているからです。コンビニはお互いがライバルであり、売り上げを競い合っています。似たような商品を、似たような値段で販売しています。でも、売り上げは店によって大きく違ってくるのです。

みなさんなら、快い挨拶をしてくれる店と不愛想な店ではどちらを選びますか？答えははっきりしていますね。

せつかくあいさつをするのならば、**相手を心地よくさせるような、心を届けるものにしたい**ですね。